

KnowBe4 の最新セキュリティカルチャー調査 分析と知見：セキュリティリーダーはセキュリ ティカルチャーの価値を認識するが、その醸成 と実践に苦慮

94%のセキュリティリーダーがセキュリティカルチャーはビジネスの成功には重要と認識 (KnowBe4 委託の米独立系調査会社「フォレスター」による調査報告「The Rise of Security Culture (セキュリティカルチャーの潮流)」より)

※当資料は、2020年4月28日に米国で発表されたニュースリリースの抄訳版です。

<https://www.knowbe4.com/press/new-knowbe4-study-finds-leaders-value-strong-security-culture-but-struggle-to-define-and-implement-it>

米国フロリダ州タンパベイ(2020年4月28日発) - セキュリティ意識向上トレーニングとフィッシングシミュレーション・分析を組み合わせた世界最大の統合型プラットフォームのプロバイダーである KnowBe4 社(本社:米国フロリダ州タンパベイ、創立者兼 CEO: Stu Sjouwerman (ストウ・シャワーマン))は、KnowBe4 からの委託でフォレスターコンサルティングによって実施された最新のセキュリティカルチャー調査報告「The Rise of Security Culture (セキュリティカルチャーの潮流)」の調査結果を発表しました。

昨年11月に、KnowBe4 は、全世界の企業におけるセキュリティカルチャーの実態調査をフォレスターコンサルティングに委託しました。この委託を受けて、フォレスターコンサルティングはセキュリティまたはリスク管理を担当するマネージャー職以上の1,161名の世界のセキュリティリーダーへのオンラインアンケート調査を実施しました。このアンケート調査から、セキュリティリーダーはセキュリティカルチャーの価値を認識しているが、市場の速度に追従してセキュリティカルチャーを醸成させ、実践することに苦闘していることが浮き彫りにされました。

KnowBe4 のチーフエバンジェリストオフィサー兼戦略統括オフィサーである Perry Carpenter(ペリー・カーペンター)は、今回のセキュリティカルチャー調査について次のようにコメントしています。

「KnowBe4 は全世界の組織のセキュリティカルチャーについての多くのデータを手に入れることができました。これは、われわれのセキュリティカルチャーアセスメントに関する取り組みの第一歩です。われわれの目指すところは、セキュリティリーダーたちがセキュリティカルチャーとは何かを感覚的に掴むだけでなく、セキュリティカルチャーの実践を他社の実態と比較してどのレベルにあるかを実戦的な戦略として捉えるようにすることを支援することです。」



また、KnowBe4 のセキュリティカルチャーアドボケイト兼 CLTRe 社リサーチセンター長である Kai Roer(カイ・ロエル)は、次のように、セキュリティカルチャーについてコメントしています。「セキュリティカルチャーの専門組織を創業してきた一人として、組織内にセキュリティカルチャーを根付かせるための多くの側面が見えたことを高く評価します。今回の調査では、強いセキュリティカルチャーはビジネスの最優先課題であるが、依然としてセキュリティリーダーが正確に定義するために格闘していることを明白にしました。また、今回の調査から見えた最も驚くべき発見は、強いセキュリティカルチャーの構築のための最大のモチベーションは、ビジネス理念からくるもので、リスク緩和からくるものでないことです。」

今回の調査結果のポイントをまとめると、次のとおりです。

- セキュリティカルチャーはビジネスの最優先課題である。回答者の 94%がビジネスを成功させる上で重要であると述べている。
- セキュリティカルチャーは普遍的に定義されていない。回答者は 5 つのグループに分類された。すべてに類似する点は見られるが、異なったセキュリティカルチャーの定義を持っている。
- 意思決定者は、現行のセキュリティカルチャーに対して過信している。92%の回答者が、セキュリティカルチャーは組織内に根付いていると回答しているが、セキュリティインシデントは依然として発生し続けていて、セキュリティ戦略を全体のビジネス戦略の一部として統合する必要があると見ている。
- 強いセキュリティカルチャーは高い顧客満足度を生み出す。63%の回答者は、強いセキュリティカルチャーの成果として顧客信頼度が増加することを期待している。同時に、その半数が自社ブランド価値を向上することを期待している。

「The Rise of Security Culture (セキュリティカルチャーの潮流)」(英文)をダウンロードするには、以下のリンクからリクエストしてください。 <https://info.knowbe4.com/rise-of-security-culture>.

<KnowBe4 について>

KnowBe4 は、セキュリティ意識向上トレーニングとフィッシングシミュレーション訓練・分析を組み合わせた世界最大の統合プラットフォームのプロバイダーです。KnowBe4 は、IT/データセキュリティ・エキスパートである Stu Sjouwerman(ストウ・シャワーマン)によって 2010 年 8 月に米国フロリダ州タンパベイで設立され、セキュリティの「人的要素:ヒューマンエラーの克服」にフォーカスして、ランサムウェア、CEO 攻撃/詐欺、ビジネスメール詐欺(BEC)を始めとする巧妙化するソーシャルエンジニアリング手口などの社員ひとり一人のセキュリティに対する認識を高めることで、「人」を狙うセキュリティ脅威から個人、組織、団体を防御することを支援しています。世界でも著名なサイバーセキュリティ・スペシャリストである Kevin Mitnick(ケビン・ミトニック)が CHO (Chief Hacking Officer)を務めています。同氏のハッカーの視点に立った知見をベースに KnowBe4 のトレーニングプログラムは組み立てられています。2020 年 4 月現在、3 万 2 千社を超える企業や団体が KnowBe4 を採用して、防御の最終ラインとして「人」による防御壁を構築しています。また、KnowBe4 はセキュリティ意識向上トレーニングのマーケットリーダーとして、その評価はガートナーが同社の 2019 年度マジッククアドラントで 3 年連続リーダーとして認定するほか、企業成長力や企業文化においても高い評価を獲得しています。

<https://www.knowbe4.com/> (英語サイト)

<https://www.knowbe4.jp/> (日本語サイト)

<KnowBe4 Japan の問い合わせ先>

KnowBe4 Japan 合同会社 根岸

TEL:03-4588-6733 メール: info@knowbe4.jp

住所:東京都千代田区大手町 1-9-2 大手町フィナンシャルシティ

グランキューブ 3 階 Global Business Hub Tokyo

<https://www.knowbe4.jp/>